



平塚市民病院

令和3年度職員行動計画書

実績

★ビジョン★

「持続的な健全経営の下、高度医療、急性期医療及び政策的医療を担い、患者さんの生命（いのち）を守る診療を行う」

★令和3年度のキー・フレーズ★

「早め早めのアプローチ」

「チームワークで“つなぐ”医療」

「全員コンシェルジュ 笑顔であいさつ」

「仕事の成果の見える化」

令和3年度職員行動計画書実績

・内科(腎臓内分泌代謝内科)・1	・救命救急センター
・呼吸器内科、アレルギー内科・2	(救急科・救急外科)・・・28
・消化器内科・・・・・・・・・・4	・麻酔科・・・・・・・・・・30
・循環器内科・・・・・・・・・・5	・看護科・・・・・・・・・・31
・神経内科・・・・・・・・・・6	・ICU・CCU・・・・・・・・・・32
・緩和ケア内科・・・・・・・・・・7	・薬剤科・・・・・・・・・・33
・精神科・・・・・・・・・・8	・放射線技術科・・・・・・・・・・34
・小児科・・・・・・・・・・9	・臨床工学科・・・・・・・・・・35
・外科・・・・・・・・・・10	・臨床検査科・・・・・・・・・・37
・呼吸器外科・・・・・・・・・・11	・栄養科・・・・・・・・・・38
・消化器外科・・・・・・・・・・12	・医療安全管理室・・・・・・・・39
・血管外科・・・・・・・・・・13	・感染対策室・・・・・・・・・・40
・心臓血管外科・・・・・・・・・・14	・入退院支援・医療相談室
・脳神経外科・・・・・・・・・・15	・・・・・・・・・・41
・乳腺外科・・・・・・・・・・16	・経営企画課・・・・・・・・・・43
・整形外科・・・・・・・・・・17	・病院総務課・・・・・・・・・・45
・形成外科・・・・・・・・・・18	・医事課・・・・・・・・・・46
・皮膚科・・・・・・・・・・19	・災害医療企画室・・・・・・・・48
・泌尿器科・・・・・・・・・・20	
・産婦人科・・・・・・・・・・21	
・眼科・・・・・・・・・・22	
・リハビリテーション科・	
リハビリテーション技術科・23	
・放射線診断科・・・・・・・・・・24	
・放射線治療科・・・・・・・・・・26	

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	内科	総括責任者	部長 厚川 和宏
病棟名	4D病棟	副責任者	主任医長 唐澤 隆明

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医と密接に連携をとり、病診連携を推進します。糖尿病性腎症重症化予防事業を推進します。
- ②血液浄化療法(急性・慢性)を充実します。
- ③新型コロナウイルス感染症に対応可能な医療体制を実現します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	130.0%	102.20%	152.40%	紹介率・逆紹介率
糖尿病性腎症重症化予防プログラムを充実させる	医師、管理栄養士、看護師、病診連携室	紹介率	70%	40.06%	55.82%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①慢性腎臓病患者の腎代替療法選択のための支援を拡充します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
腎代替療法選択のための説明・相談の充実	医師、看護師	療法選択選択指導回数	延べ50回	151回	60回	(なし)
腹膜透析治療を充実させる	医師、看護師、管理栄養士	患者数、透析効率・腹膜平衡機能検査実施回数	3名、2回	4名、2回	3名、1回	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増を目指します。
- ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携や新しい治療法による入院患者数の確保	医師	年間新入院患者数	1,636人	1,568人	1,407人	1日当たり平均入院患者数
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	月80時間を超えないようにする	36時間12分	48.4時間	職員給与費対医業収益比率
適正な入院期間での退院	医師	期間尺度(DPC入院期間 I、IIの割合)	50%以上	52.2%	46.0%	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	呼吸器内科・アレルギー内科	総括責任者	部長 釣木澤 尚実
病棟名	4D病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①放射線治療科、呼吸器外科との連携により肺癌治療の迅速化に努めます。
②本邦最多症例を有する好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の管理を含めた成人のアレルギー疾患の診療を充実させ、アレルギー診療としての当院のブランド化の確立を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績 (R2.4～12月)	KPI (重要業績評価指標)
肺癌カンファレンスの開催	医師	治療開始までに要した日数	呼吸器外科/放射線治療科36日	36日	呼吸器外科/放射線治療科36日	(なし)
呼吸器外科との連携強化	医師	肺癌患者紹介数	20件	28件	25件	手術件数
アレルギー診療に関する専門外来・セカンドオピニオンの充実	医師	アレルギー疾患紹介患者数	50件	80件	60件	(なし)
アレルギー疾患に関する臨床研究・症例報告を介して国内・海外への情報発信	医師	学会・論文発表数	併せて年10件	15件	14件	(なし)
アレルギー疾患の地域医療連携システムの構築	医師	勉強会の開催・逆紹介数など	120件	200件	140件	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①外来患者さんに快適な受診環境を提供します。
②アレルギー疾患の診断・治療を充実します。
③最先端の治療を組み入れた管理を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績 (R2.4～12月)	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間の短縮	医師ほか	診療時刻～受付時刻	20分	20分	20分	(なし)
呼気NOやモストグラフを入れた肺機能検査の実施。初診日に実施し早期診断を目指す。	医師ほか	初診日から1か月以内の臨床症状の改善度の評価	40%	60%	40%	(なし)
外来生物製剤注射 待ち時間の短縮	医師ほか	診察終了～注射時間	25分	30分	30分	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	呼吸器内科・アレルギー内科	総括責任者	部長 釣木澤 尚実
病棟名	4D病棟	副責任者	

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者を現在以上に大切に思いやりリピーターを増やします。
- ②EGPAに対するIVIGの入院パス化の実践により安定した一定の収益が期待できます。
- ③EGPAのIVYC短期入院により、入院期間短縮とEGPAに対するDPC係数から収益に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績 (R2.4～12月)	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の確保・維持	医師ほか	年間入院患者数	292人	280人	251人	1日当たり平均入院患者数
EGPAに対するIVIG	医師ほか	年間入院患者数	30例	52例	40例	医業収支比率
EGPAに対するIVYC短期入院	医師ほか	年間入院患者数	30例	72例	36例	医業収支比率
アレルギー疾患全般における外来診療の充実－生物製剤の導入など－	医師ほか	年間外来患者数	延べ300例	290例	250例	医業収支比率
肺癌の化学療法	医師ほか	年間入院患者数	50例	80例	55例	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長	厚川 和裕
—		副責任者	主任医長	谷口 礼央

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コロナ検査で落ち込んだ上下部内視鏡スクリーニングの検査件数の回復を図ります。
②同様に、内視鏡手術件数の回復を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	R2実績を維持	99.55%	93.97%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	R2実績を維持	155.53%	156.03%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①内視鏡室日常業務のフロー改善による効率化を図ります。
②検査枠の空きを可能な限り減少させるため、必要症例に対しての、外来時の積極的な検査のオーダーを励行します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間短縮による業務の効率化	医師・看護師・事務	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比5分短縮	30分	33分	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療点数に対する若手の教育を行い、診療単価の上昇を図ります。
②検査時の使用機具を厳選し、コストの削減を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
適正な入院期間での退院	医師、看護師、退院支援室	期間尺度(DPC入院期間 I、IIの割合)	60%	55.5%	50.3%	平均在院日数
開業医との連携による入院患者の確保	医師	新入院患者数	1,520人	1,237人	1,307人	1日当たり平均入院患者数
ERCP処置数の増加	医師	実施件数	10% 増加	364件	339件	医業収支比率
ESD処置数の増加	医師	実施件数	10% 増加	184件	154件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長 高木 俊介
病棟名	3B、ICU/CCU、救急病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①循環器救急病棟(特に急性心筋梗塞)診療の充実に努めます。
- ②近隣医療機関との連携強化・役割の明確化に努めます。
- ③医療効率の人的・時間的・空間的・経済的向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会講演会等への積極的参加、開業医訪問	医師	紹介率	80.0%	83.97%	86.05%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	100%	301.81%	358.72%	紹介率・逆紹介率
急性心筋梗塞、急性期診療体制の充実	医師、看護師、ME、放射線科技師	症例数	70人	78人	69人	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市民病院に対する市民の評価向上を図ります。
- ②高齢化に伴い疾患増加率の高い心不全患者の診療満足度向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、看護師、DC、検査技師、事務	患者1人当たりの平均診察待ち時間	22分	37分	24分	患者満足度
医師・心不全認定看護師によるコラボレーション外来	医師、心不全認定看護師	対応患者数(月2回)	8人	10人/月 計120人	7.25人/月	(なし)
来期心不全患者に対する緩和医療の導入	医師、看護師、ソーシャルワーカー、事務、栄養士、薬剤師	対応患者数	1人	0人	0	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を目指します。
- ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間紹介患者受入数(循環器内科)	140人	119人	139人	1日当たり平均入院患者数
救急搬送患者受入による重症患者確保	医師	年間救急搬送患者受入数	255人	261人	254人	1日当たり平均入院患者数
PCI(経皮的冠動脈形成術)件数	医師	年間PCI件数	140人	123人	126人	医療収支比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	619人	425人	532人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長	田川朝子
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

①地域の病院、開業医との連携により、幅広く神経内科領域の疾患の診療をしていくよう、努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外勤医師による外来診療の充実	医師	紹介率	69.6%	73.28%	69.6%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

①入院診療の充実を図りたいと考えています。
②職員のコスト向上に資する取り組みにより、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
県内外病院への働きかけにより、常勤医師の増員に努める。	医師	新入院患者数	84人	84人	72人	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

専門外来での多発性硬化症、視神経脊髄炎患者診療のさらなる充実をめざします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
地域の非専門医への啓蒙活動などでの働きかけ	医師	紹介患者数	213人	255人	213人	(なし)
当院看護師やソーシャルワーカー、リハビリスタッフなどへの疾患認知、情報交換を行う	医師	カンファレンスや講演会施行数など	年2回	0回	年2回	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	高木 俊介
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケアを必要とする患者さんを積極的に拾い上げ、多職種からなるチームアプローチで質の高い緩和ケアを実現します。
- ②患者さんが気軽に相談できる窓口(がん相談支援センター)の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
「苦痛のスクリーニング」の実施	医師、看護師、薬剤師	実施件数	1,300件/年	1,684件	1,267件	(なし)
がん相談支援センター	がん専門相談員	実施件数	100件/年	198件	89件	(なし)
多職種での合同カンファレンス(緩和ケア委員会において)	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師	実施件数	12件/年	10件	12件	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんひとりひとりの苦痛や悩み(身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛等)を和らげる関わりをします。
- ②患者さん同士が気軽に安全に語り合える場(がん患者会)や緩和ケア啓発イベントなどを提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアチームでの回診カンファレンス	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、心理士	実施回数	週4回	週4回	週4回	患者満足度
がん患者の会「なでしこの会」開催	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など	開催回数	年2回(WEB等)	0回	0回	患者満足度
緩和ケア週間(相談、啓発イベント)の開催	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師	開催回数	年1回	0回	0回	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケア内科の診療依頼件数の増加を目指します。
- ②がん診療に携わるすべての医師が「緩和ケア研修会」を受講し、がん性疼痛緩和指導管理料を算定します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケア診療加算(390点)	医師、看護師、薬剤師	算定患者数	1,000件/年	1,060件	946件	医療収支比率
癌性疼痛緩和指導管理料(200点)	医師	算定患者数	180件/年	193件	157件	医療収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	精神科	総括責任者	科医長 森長 修一
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

急性期治療における精神科介入によって、患者のQOL向上や効率的な業務遂行に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
院内からの診療依頼件数の増加	医師	他科依頼件数	前年度比5%増	640件	764件	(なし)
不眠時頓服薬の適正化	医師	ゾルピデム処方の減少	前年度比10%減	3,230錠	3,662錠	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な受診環境を提供するよう努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来診療枠の適正化による待ち時間の短縮	医師	外来待ち時間	21分	19分	21分	患者満足度
患者に分かりやすいホームページの作成	医師	ホームページ見直し回数	1回	1回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

必要な加算を適宜取得し、コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
精神科リエゾンチーム加算の取得	リエゾンチーム	算定件数	1,555件	1,229件	1,481件	医業収支比率
入院、外来患者の精神療法を行った際の指導料を算定	医師	算定件数	4,300件	3,655件	4,089件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	小児科	総括責任者	部長	福島 直哉
病棟名	5D小児科病棟、NICU、GCU	副責任者	看護師長	川邊 康子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 質の高い高度医療を提供するため、紹介患者を中心とした診療を展開します。
- ② 小児救急・周産期救急医療維持のため必要な小児科医を確保します。
- ③ 産科と連携し、地域の産婦人科開業医からの新生児・母体搬送を積極的に受け入れます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医との連携	医師	紹介率	90.0%	77.38%	86.5%	紹介率・逆紹介率
開業医への逆紹介の推進による外来業務の効率化	医師	逆紹介率	30.00%	22.62%	25.9%	紹介率・逆紹介率
小児救急・周産期救急医療体制維持のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	9人	9人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 24時間、365日小児・新生児の受け入れに努力します。
- ② 小児病棟・NICU・GCUにぬくもり空間を作ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
小児救急・周産期救急医療体制のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	9人	9人	産科・小児科(周産期)の二次救急当番実施率
クリスマス会などの各種イベントの開催	医師・看護師・保育士	イベント・読み聞かせ開催数	イベント年 2回以上	0回	1回	患者満足度

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 空床を減らし病床を有効に活用します。
- ② 総合入院加算維持のため逆紹介を推進し、外来縮小体制をとります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
予定入院増加による空床の有効活用	医師	予定入院数	前年度比 5%アップ	175件	134件	病床利用率
地域開業医との連携・逆紹介推進による外来縮小体制	医師	総合入院体制加算 治癒・退院率	55%	50.8%	40.3%	1日当たり平均外来患者数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	657人	705人	565人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術(高度な医療)が必要な患者に24時間365日、一件でも多くの外科手術を提供します。
- ②双方で顔の思い浮かぶ病診連携により外来診療を縮小します。
- ③多職種連携チームの活動を通じてSSIの減少に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
技術習得等による手術実行数の増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,200件/年	1,153件	1,104件/年	手術件数
信頼関係の強い病診連携先数を得るための開業医訪問回数増	医師、事務職	訪問回数	2回/月以上	5回/年	0回	紹介率・逆紹介率
SSI(術後創感染)発生率の減	医師、事務職	消化器外科でのSSI発生率	6.0%未満	4.4%	2.6%	(なし)
診療情報提供の積極的な実施	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科全体での退院時診療情報提供書の率	40%	37.2%	41.1%	総合入院体制加算 退院時治癒・紹介率

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

分かりやすい説明により、患者さんが安心して受診できる体制を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実	医師、薬剤師	外科ホームページの更新回数	3回/年	1回	4回/年	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

収入確保と支出削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術を数多く行うことによる診療稼働額増及び診療単価増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,200件/年	1,153件	1,104件/年	医業収支比率
サージレーンの解析結果を業者、事務職と協力して分析し、手術に関する支出を減少させる	医師・事務職・業者	実施	実施	実施	-	診療材料費対医業 収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	呼吸器外科	総括責任者	科医長 生駒 陽一郎
病棟名	3D病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域連携により外来診療効率化や紹介患者を確保に努めます。
また業務の見直しや教育などにより入院診療の効率化に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医へのチラシ配布や訪問などによる紹介患者の確保	医師	紹介率	133.63%	131.25%	127.27%	紹介率・逆紹介率
患者紹介による手術件数の確保	医師	手術件数	60件	61件	56件	手術件数
クリニカルパスの導入	医師、看護師、事務職	パスの作成、運用	1	0	0	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

診療の質を向上することで患者満足度を改善します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
術後合併症による再手術の減少	医師	術後再手術件数	0件	0件	1件	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病床稼働率の向上や適切な医材使用による収入の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
在院日数の最適化などによる入院診療単価の増加	医師	入院診療単価	132,959円	147,855円	126,628円	入院診療単価
地域連携に基づく入院患者数の確保	医師	入院患者数	116人	105人	100人	1日当たり平均入院患者数
手術毎の自動縫合器超過使用本数の削減	医師	自動縫合器超過使用本数	33本	13本	35本	診療材料費対医業収益比率
DPC入院期間Ⅱまでの退院	医師	期間尺度(DPC入院期間Ⅱまでの退院率)	85.7%	89.0%	85.7%	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長 高野 公徳
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より多くの症例に対応し、医療の質の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
一般消化器外科手術症例数の増加	医師	手術症例数	750 件	786件	719 件	手術件数

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より詳細な情報発信により、安心して受診していただける環境を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
病院ホームページの充実	医師	内容の充実	より詳細な記載	より詳細な記載	詳細な記載	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

多くの症例の手術に対応することで、患者を確保するとともに、収入増を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術症例の増加による入院診療単価の増	医師	入院診療単価	前年度比5%増	108,252円	98,633円	入院診療単価
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	777人	718人	668人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	血管外科	総括責任者	科医長 林 啓太
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①低侵襲治療を積極的に導入し、在院日数削減を目指します。
- ②効率的な業務遂行のため、業務内容の定型化を目指します。
- ③チーム医療を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
DPC入院期間Ⅱまでの退院	医師	期間尺度(DPC入院期間Ⅱまでの退院率)	80%以上を維持	84.2%	86.5%	(なし)
クリニカルパスの導入	医師・看護師	クリニカルパス実施数	50件	40件	0件	(なし)
他科との連携	医師	手術症例数	60%	52.23%	61.92%	手術件数

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんに最新の情報を分かりやすく発信します。
- ②患者満足度向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術説明書の見直し	医師	見直した資料の種類	9種類	0種類	0種類	(なし)
外来の待ち時間縮小	医師	外来待ち時間	30分以内	19分	25分	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コロナ禍においても可能な限り手術件数を維持します。
- ②診療科稼働額維持、査定率減少による増収を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数の維持	医師	手術件数	200件	224件	218件	医業収支比率
診療科稼働額の維持	医師	診療科稼働額(入院)	150,000,000円	125,727,837円	142,215,583円	医業収支比率
詳細な症状詳記記載による査定率の減少	医師	査定率	1次査定 1%以下	0.64%	1.05% (R2.4～R3.1)	医業収支比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	130人	113人	112人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長 笠原 啓史
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長 池谷 綾

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のため、循環器内科医との病診連携の継続と新規開拓を行います。
- ②低侵襲手術(大動脈ステントグラフト内挿術)を提供します。
- ③心臓大動脈疾患の緊急症例(急性期・救急医療)に対応します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため病診連携の継続	医師	紹介手術件数	60人	59人	53人	手術件数
人工心肺装置を使用しない胸部大動脈手術	医師	手術件数	10人	6人	18人	手術件数
心臓大動脈疾患の緊急症例に対応	医師	手術件数	6人	19人	6人	手術件数

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんに分かりやすい医療を実践します。
- ②患者さんに快適な入院環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者さんに分かりやすい手術説明	医師	苦情件数	0件	0件	1件	患者満足度
親切かつプライバシーに配慮した病棟回診	医師、看護師	お褒めの言葉の数	2件	3件	1件	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のため、循環器内科医との病診連携の継続と新規開拓を行います。
- ②輸血、点滴、抗生剤などについて、必要最低限の使用を目指します。
- ③内視鏡併用低侵襲心臓手術を導入し、手術単価の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため病診連携の継続	医師	紹介手術患者数	60人	59人	54人	1日当たり平均入院患者数
無駄な薬剤使用の是正	医師	査定率	1%以下	0.21%	0.86%	(なし)
内視鏡併用低侵襲心臓手術の導入による単価の増加	医師	手術件数	1人	0人	不明	1日当たり平均入院患者数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	138人	121人	119人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救急、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療支援のため、紹介及び逆紹介を積極的に行います。
- ②重症患者の診療を中心に行うため、手術室の有効利用を図り、手術件数の増加に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介の推進	医師	紹介率	60.0%	49.15%	54.01%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	160.0%	126.10%	148.52%	紹介率・逆紹介率
紹介、救急症例の増加による手術件数の増加	医師、看護師	手術件数	200件	164件	158件	手術件数

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

重症患者を受け入れ、いつでも緊急手術に対応可能な体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
緊急手術件数の増加	医師、看護師	緊急手術件数	150件	109件	109件	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで入院稼働額の増を目指します。
- ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
重症患者確保による入院診療単価の増加	医師	年間入院診療単価	99,000円	79,194円	90,158円	入院診療単価
1日当たり平均入院患者数	医師	1日当たり平均入院患者数	15人	16.6人	11.2人	1日当たり平均入院患者数
DPC入院期間Ⅱまでの退院	医師、看護師、MSW	期間尺度(DPC入院期間Ⅱまでの退院率)	76.2%	62.7%	76.2%	入院診療単価
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数	70時間	63時間18分	75時間15分	職員給与費対医業収益比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	357人	342人	307人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長 米山 公康
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

対外的活動を増進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
市主体乳がん検診の実施・協力	医師	実施件数	可能な限り多く	596件	403件	紹介率・逆紹介率
退院時診療情報提供書作成の徹底	医師	作成件数	前年度を上回る	38件	18件 (R2.4～R3.2)	紹介率・逆紹介率
多職種カンファレンスの継続 (画像/週1回、病理/月1回)	医師・技師	実施回数	前年度維持	画像:週1回 病理:月1回(12回)	病理11回	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

媒体の積極的活用により、患者さんに安心して受診していただける体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
日曜乳がん検診の実施(恒常化を図る)	医師・技師・看護師	実施回数	2回	2回	1回	患者満足度
ホームページの充実	医師	改訂回数	2回	1回	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

医療資源を効率的に活用します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
化学療法の積極的実施	医師	化学療法施行数	前年度を上回る	758件	876件	外来診療単価
新規乳癌手術件数の維持・使用資材の効率化	医師	手術件数	前年度を上回る	98件	94件	医業収支比率
全身麻酔下手術の推進・使用資材の効率化	医師	手術件数	前年度を上回る	106件	103件	医業収支比率
自費検査(OncotypeDX)の値上げと実施の促進	医師	施行件数	前年度を上回る	23件	16件	外来診療単価
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	149人	119人	128人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長 加藤 創太
病棟名	4B病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 脊椎・関節・手の外科領域で専門性の高い手術医療を提供します。
- ② 救急救命センター・麻酔科・手術室と連携し、適確かつ迅速な急性期医療を提供します。
- ③ 開業医との連携により、医療連携による役割の明確化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数増加による手術室の適正運用の推進	医師	整形外科手術件数	1,000件	1,038件	905件	手術件数
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介患者数	前年度比5%増	623人	535人	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	前年度比5%増	86.41%	84.12%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	前年度比維持	193.20%	214.15%	紹介率・逆紹介率
退院時診療情報提供書作成の推進	医師	総合入院体制加算 治癒・退院率	前年度比5%増	38.4%	41.0%	総合入院体制加算 退院時治癒・紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

わかりやすい情報提供をおこない、患者さんにとって安心できる診療体制を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、外来看護師、事務職	患者一人あたりの平均待ち時間	30分以内	22分	35分	(なし)
市民健康講座(院内講座)の開催	医師	市民健康講座開催数	1回	0回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 専門性の高い手術治療および急性期治療を積極的におこない、入院患者を確保すると共に収益の増加を図ります。
- ② 職員の業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医および救急救命センターとの連携による新入院患者の確保	医師	年間新入院患者数	1,033人	1,047人	888人	医業収支比率
専門性の高い手術治療の実施による入院診療単価の増加	医師	入院診療単価	前年度比5%増	82,639円	75,020円	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	一人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%減	43時間54分	43時間12分	職員給与費対医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	形成外科	総括責任者	部長	杉木 正
—		副責任者	医師	下野 綾乃

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のために案内状を送付します。	医師	送付通数	10通	530通	0通	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに分かりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者に分かりやすいホームページの作成	医師	ホームページ見直し回数	1回	1回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

患者アクセスのよい外来手術件数の増加を通して医業収益の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来手術件数の増加	医師	10%増加	200件	441件(532件救急含む)	—	手術件数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	77人	76人	66人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長	栗原 佑一
病棟名	3A	副責任者	師長	秦野 歩

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

病院として求められる、質の高い、適切な医療提供を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
再診患者の逆紹介を推進する	医師	外来患者数の減少	55人/日	63.9人/日	59.0人/日	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

検査や病院で求められる治療に重点を置き、待ち時間短縮を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来の待ち時間の減少(逆紹介により)	医師	診察待ち時間	33分	28分	33分	患者満足度
日帰り手術 待機期間の短縮	医師、看護師	手術待機期間	2ヶ月	1.5ヶ月	2.5ヶ月程度	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上と業務効率化によるコスト削減により単価の上昇を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
スタッフミーティングによるコストへの意識を高める	医師、看護師、事務	ミーティング実施回数	2ヶ月に1回	5回	5回	診療材料費対医業収益比率
入院治療のパス化を促進する	医師、看護師	パス患者数	45%	30.81%	38.90%	診療材料費対医業収益比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	215人	171人	185人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	科医長 澤田 康弘
病棟名	3D病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医との連携強化を図ります。
- ②最先端の手術の導入を目指します。
- ③外来手術の導入、実施を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための連携(外来協力)	医師	外来協力回数	週1回	週1回		紹介率・逆紹介率
手術症例の相互紹介	医師	逆紹介患者数	250人	348人	178人	紹介率・逆紹介率
安全な手術の実施による手術件数の増加	医師	手術件数	400件	486件	340件	手術件数
手術支援ロボットの導入	医師	ロボット支援手術の実施	10件	0件	0件	手術件数
外来手術の導入、実施	医師	外来手術件数	60件	61件	0件	手術件数

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんに快適な診察環境を提供します。
- ②患者さんにわかりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化、外来待ち時間の短縮	医師	外来待ち時間	前年度比10%短縮	22分	32分	患者満足度
患者にわかりやすいホームページの作成	医師	ホームページ見直し回数	2回	0回	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①必要患者に対する適切な入院加療を行い、過剰医療の抑制に努めます。
- ②職員のコスト意識向上に資する取り組みにより、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
必要患者の入院を対応、開業医との連携による新入院患者の確保	医師	年間新入院患者数	443人	503人	381人	医業収支比率
合併症のない手術を遂行し、効率の良い病棟運営	医師	入院診療単価	前年度比5%増	88,622円	77,177円	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人あたりの時間外勤務時間数(月)	前年度比3%減	63時間30分	71時間41分	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	5D産科 他	副責任者	部長	藤本 喜展

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市内診療所との連携を強化します。
- ②県内病診との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
神奈川県産科婦人科医会部会参加 (総務部会・周産期部会)	医師	紹介率	70.0%	74.79%	69.74%	紹介率・逆紹介率
平塚市産婦人科医会運営・参加	医師	紹介率	70%	74.79%	69.74%	紹介率・逆紹介率
逆紹介推進	医師	総合入院体制加算 退院時治癒・紹介率	40%	12.8%	19.9%	総合入院体制加算 退院時治癒・紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①分娩における医療環境を整備します。
- ②緊急時の対応を整備します。
- ③女性診療環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
母体搬送の積極的受け入れ	医師・助産師	受け入れ患者数	25件	24件	27件	分娩件数
周産期救急の受け入れ	医師・助産師	受け入れ患者数	300件	300件	237件	産科・小児科(周産期)の二次救急当番実施率
医療圏の婦人科救急	医師・助産師	受け入れ患者数	25件	39件	38件	産科・小児科(周産期)の二次救急当番実施率

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①診療レベルを維持しながら、入院期間を短縮し、入院患者数を増加します。
- ②子宮頸癌ワクチン接種が再度推奨された折には、積極的に接種します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の(再)増加	医師	入院患者数	R1水準	7,881人	7,832人 8,811人(R1)	1日当たり平均入院患者数
悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術増加による入院診療単価増加	医師	入院診療単価	72,000円	79,885円	76,781円	入院診療単価
術創管理変更による入院日数短縮*	医師	平均在院日数	R1水準-1(日)	8.4日	8.6日 9.1日(R1)	平均在院日数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	1,147人	1,005人	986人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	眼科	総括責任者	部長 白石 亮
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、地域医療の充実を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会眼科部会への参加等	医師	参加回数	1～2回	0回	0回	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	150%	120.64%	193.83%	紹介率・逆紹介率
科内カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士等	開催数	毎月1回	2回	1回	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 診療、手術待ち時間の短縮に努め、患者満足度向上に努めます。
- ② 白内障手術の入院日数を多様化して、患者満足度向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
1泊2日パスの実施率	医師	1泊2日入院の症例割合	50%	65.7%	-	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 手術患者を確保することで、入院稼働額増を目指します。
- ② コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	197人	179人	169人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	科部長 科長	加藤 創太 磯谷 誠
—		副責任者	科長代理	笠原 まゆみ 金野 千帆

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

ICU・CCUにおいて超急性期リハビリテーションを実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ICU・CCUでのリハビリテーション実施単位数	リハ技師	実施単位数	1000単位	1,034単位	704単位	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

リハビリテーション専門医師等によるリハビリテーション診察を実施し、計画的にリハが施行出来るよう努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
リハ医等によるリハ診察の実施	医師	診察人数	1,300人	1,348人	1,284人	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

指示・実施単位数や加算の積極的な取得により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
リハビリテーション科全体の実施単位数	医師、理学療法士、 作業療法士、言語聴覚士	単位数	40,000単位	43,651単位	40,035単位	経常収支比率
理学療法士の実施単位数	理学療法士	単位数	25,000単位	28,909単位	27,306単位	経常収支比率
作業療法士の実施単位数	作業療法士	単位数	9,000単位	9,650単位	8,950単位	経常収支比率
言語聴覚士の実施単位数	言語聴覚士	単位数	6,000単位	5,092単位	3,779単位	経常収支比率
リハビリテーション総合実施計画書の作成及び算定	医師、看護師、 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	件数	2,500件	2,276件	2,314件	経常収支比率
退院時指導の算定	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	件数	1,200件	1,261件	1,171件	経常収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—		副責任者	主任医長 小林 真紀子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①CT・MRIを初めとする画像診断機器の有効的活用による検査数の増加と、共同利用数の増加を図ります。
- ②画像診断管理加算2体制の維持による臨床医への速やかな検査結果報告による医療の質向上を図ります。
- ③ドクターズクラーク導入によるワークシェアなどによる医師の事務作業時間の短縮、時間外労働の減少を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
CT検査予約待ちの解消の体制を維持する	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	即日実施	即日実施	即日実施	(なし)
MRI検査予約待ちの短縮を図る	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	ルーチン5日 精査10日	ルーチン1日 精査5日	ルーチン0日 精査8日	(なし)
紹介患者獲得のための開業医への連携強化	医師、放射線技師 地域連携室	紹介数	委託検査維持	2,181件	2,011件	紹介率・逆紹介率
画像診断管理加算2体制の維持	医師	翌診療日読影率	80%以上	96%	98%	(なし)
医師の事務作業時間の短縮	医師、ドクターズクラーク	時間外労働時間	放射線診断科平均時間外	51時間12分	69:30:00	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜日・日曜日のMRI委託検査の実施により地域医療へ貢献します。
- ②夜間・休日読影により質の高い救急医療へ貢献します。
- ③緊急IVR体制の確保により安心できる救急医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
土曜日・日曜日MRI委託検査の実行	医師・放射線技師	MR検査委託数	MR委託検査維持	772件	642件	(なし)
夜間・休日読影	医師	夜間休日読影率	80%以上	100%	100%	(なし)
緊急IVR応需体制維持	医師・放射線技師 看護師	緊急・準緊急IVR件数	60件以上	125件	86件	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—		副責任者	主任医長 小林 真紀子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大血管センターの一員として心臓血管外科・血管外科との協力体制の元、ステントグラフト治療を行い、心臓外科・血管外科の入院診療単価の向上を目指します。
- ②IVR-CTを利用した高度な治療の提供により、肝動脈化学塞栓術・血管形成等の手技を施行し診療単価の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト治療数	医師	手術数	30件以上/年	18件	37件	入院診療単価
肝動脈化学塞栓術	医師	手術数	40件以上/年	37件	44件	入院診療単価
血管形成術	医師	手術数	60件以上/年	81件	93件	入院診療単価
肝腫瘍ラジオ波焼灼術・マイクロ波凝固術	医師	手術数	10件以上/年	8件	14件	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	今宮 聡
—		副責任者	医長	早田 格

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①高精度照射症例割合の増加及び治療(照射)時間の短縮化に努めます。
- ②光学的患者ポジショニングシステムによるセットアップ精度の向上による収益性向上の準備をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
前立腺癌、婦人科癌のVMAT(強度変調回転照射)への移行	医師・技師	前立腺癌、婦人科癌VMAT症例数	25人	61人	5人	(なし)
脳定位照射の患者数増加	医師・技師	脳定位照射症例数	8人	4人	5人	(なし)
IMRT治療(照射)時間の短縮 IMRT症例のVMAT移行促進	医師・技師	VMAT症例数	20人	61人	5人	(なし)
近接放射線治療施設との相互紹介	医師	他院放射線治療科、依頼科との相互紹介	3件以上	5件	9件	(なし)
光学的患者ポジショニングシステムの運用準備モニタリング	医師・技師	運用準備の可否	臨床運用可能状態の実現	使用不可以外全例	なし	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①放射線治療の理解を深めます。
- ②照射精度を保ちながら皮膚マーキングを減らし、審美性を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
学会作製ビデオなど放射線治療説明の上映及び改訂	医師	上映継続、改訂成否	上映継続改訂 1回	上映継続改訂1回	上映中	患者満足度
放射線治療説明書の改訂	医師	改訂数	5件	10件	6件	患者満足度
光学的患者ポジショニングシステムの運用準備	医師・技師	臨床運用の担保	臨床運用可能状態の実現	6/29よりIGRT保険請求開始	なし	(なし)
治療計画装置造設時の治療準備期間短縮	医師・技師	治療計画期間の短縮	7～10日	7～10日	14～20日	患者満足度

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	今宮 聡
—		副責任者	医長	早田 格

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 治療単価を増加させます。
- ② 治療計画装置増設時の超過勤務時間を削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
IGRT(画像誘導放射線治療)の件数増加	医師・技師・医療事務	治療単価	前年度比3%増	21,870円	17,919円	医業収支比率
IGRT(画像誘導放射線治療)の点数増加	医師・技師・医療事務	IGRT加算高点数化	件数と併せて前年比3.5%増	IGRT 骨300点:42件 腫瘍450点:73件 体表150点:52件	IGRT(骨300点) 93件 IGRT(腫瘍450点) 8件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長	河合 清美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 生命の危機に瀕した重症患者を受け入れます。② COVID-19患者・疑似症患者を受け入れます。
- 救命救急センター内の職種垣根を越えた連携を図り、よりよいチーム医療を実践します。
- 重症患者の治療にあたり、『多職種回診』を行いチーム医療を実践します。
- 地域救急隊との連携を向上させます。
- 地元医師会と連携し、救急医療と在宅医療の連携をはじめます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
近隣消防本部への挨拶回り	医師・事務(医事課)	訪問回数	2回	2回	2回	(なし)
救急患者受入数	医師	受入患者数	8,400人	9,494人	8,059人	救急患者受入数
救急搬送患者入院率	医師	受入患者数のうち 入院した患者の率	32.0%	31.5%	31.7%	救急患者受入数
年間重篤患者数(厚生労働省「救命救急センターの充実段階評価」)	医師	重篤患者数	1,100人	1,111人	1,068人	(なし)
特定集中治療室用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の入院割合	医師	重篤患者数	15%	26.7%	22.70%	重症度、医療・看護必要度(特定集中治療室)
救命救急センター会の開催	医師・看護師	救命救急センター会の回数	月1回(8月を除く)	月1回	コロナのため1回	(なし)
多職種カンファレンスを行う	医師・看護師・薬剤師・ リハビリ技師・MSW	カンファレンスの回数	週1回	週1回	週1回	(なし)
救急事例検討会の開催	医師・事務(医事課)	開催回数	2回	コロナのため0回	コロナのため0回	(なし)
救急医療と在宅医療の連携会議	医師会・医師・事務	会議参加数	2回	コロナのため0回	コロナのため0回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 救命救急センターとして、救急医療に関する情報を発信します。
- 接遇を向上させると共に、受診時間の短縮に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
救急隊からの受入れを促進する	医師	応需率	98%	98.2%	98%	(なし)
様々なツール(病院本、Smile!・ホームページ)を通じた広報活動	医師・看護師	情報発信したツール数	1件	0件	1件	情報発信件数
接遇を向上させる	医師・看護師	クレーム数	10件未満	医師1件	0件	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長	河合 清美

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急搬送件数を増加させます。
- ②入院患者数(軽症経過観察・重症集中治療)を増加させ、入院稼働額の増加をめざします。
- ③コロナ禍における救急病棟の効率的運用方法を見出します。
- ④救急外来スタッフのコスト意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	受入患者数	8,400人	9,494人	8,059人	(なし)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	平均外来患者数	15人	15.2人	13.6人	1日当たり平均外来患者数
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	外来診療単価	27,950円	30,993円	30,065円	外来診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院診療単価	救急科113,205円 救急外科115,146円	救急科140,820円 救急外科113,972円	救急科137,168円 救急外科150,078円	入院診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院患者数	100人/年	救急科198人 救急外科47人	救急科144人 救急外科64人	(なし)
救急病棟の入院稼働率(利用率)上昇	医師・看護師・事務	病床利用率	55% (空床の5床を運用しているとして80%)	57.8%	63.7%	病床利用率
救急病棟の入院稼働額上昇	医師・看護師	入院診療単価	136,797円	171,213円	153,378円	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	中川 基人
病棟名	手術室	副責任者	医長	唐木田 曜

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療の提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
麻酔科管理手術件数の増加	医師	麻酔科管理手術件数	3,000件	3,085件	2,726件	手術件数
全身麻酔件数の増加	医師	全身麻酔件数	2,500件	2,829件	2,317件	手術件数

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの痛みが少ない麻酔を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
神経ブロックの実施	医師	神経ブロック実施件数	150件	206件	136件	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員給与対医業収益比率の改善に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年比5%減	15時間12分	26時間40分	職員給与対医業収益比率
業務調整による非常勤医師時間外勤務の削減	医師	年間時間外勤務時間数	前年比10%減	410時間	558時間	職員給与対医業収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷菜穂子
—		副責任者	副看護部長	稲村ほづみ 山中享子

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 高度医療に対応できる質の高い看護の提供に努めます。
- ② 入退院支援におけるチーム医療の推進に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
救急外来トリアージの拡大	救命救急センター師長・同看護師	小児のトリアージ件数	250件以上(小児救急予測850件として30%)	29.20%	小児救急患者833件トリアージ実績なし	(なし)
PFMの推進に向け入院前面談の拡大	外来看護師・4B/5AB病棟・入退院支援室副看護師長・看護部長	乳腺外科・循環器内科・消化器内科予定入院	入院前面談350件	432件	入院前面談91件	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 患者に選ばれる病院づくりに努めます。
- ② 産後うつ防止に向けた取り組みを推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
専門職として品格ある接遇	全看護職員	患者満足度調査における接遇項目	病棟90%以上 外来90%以上	病棟96.7% 外来98.1%	病棟88.8% 外来76.9%	患者満足度
「産後うつ」防止に向けた2週間健診の拡大	5D産科病棟・産科外来/看護部	健診受診と指導件数	280人(年間分娩予測400人として70%)	204件 (対象の54.1%)	初産婦200人中136人(68%)	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① コロナ禍においても運用可能病床の80%稼働維持に努めます。
- ② 看護職員の「働き方改革」を推進します。
- ③ 看護職員の人材確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
効率的な病床管理	看護部長・副看護部長・師長・病床管理担当・感染担当医師	病床利用率	90%以上	74.0%(許可病床ベース) 81.2%(稼働病床ベース)	83.4%	病床利用率
看護職員の「働き方改革」の検討と時間外削減	看護部長・副看護部長・師長	一般病棟(成人)の看護職員一人あたりの月平均時間外	10時間以下	7.6時間	11.14時間	(なし)
人材確保・定着	看護部長・副看護部長・師長・事務(総務課)	常勤看護師採用	60人/年	36人	52名	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	全科	総括責任者	室長	中川 基人
病棟名	ICU/CCU	副責任者	師長	高橋 しのぶ

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度な医療を提供するICU/CCUの運営を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
正しい感染対策を実施し、感染予防が出来る	医師、看護師	クラスターの発生件数	0件	0件	0件	(なし)
ICU/CCU管理が必要な予定入室症例が利用できる運用	医師、看護師	ICU/CCU満床時以外の応需率	100%	100%	100%	手術件数

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

ICU/CCUとして患者ご家族から信頼され、安心される環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者の要望を十分に聴取する	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	0件	患者満足度
面会時、電話対応時積極的に意思疎通を図る	医師、看護師	お褒めの言葉	10件	6件(口頭、手紙)	7件	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院収益に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
病床利用率向上を図る	医師、看護師	病床利用率	100%	65.2%	57.80%	1日当たり平均入院患者数
重症度、医療、看護必要度の基準をクリアする	医師、看護師	A項目3点B項目4点をクリアする患者の割合	80%	93.7%	94.10%	(なし)
ICU/CCU加算未算定患者(21日以上在室患者含む)を減らす	医師、看護師	ICU/CCU加算未算定患者数(21日以上在室患者含む)	5人以下	14人	7人	(なし)